

令和6年度第1回長門医療圏地域医療構想調整会議 議事概要

【日 時】 令和6年7月30日（火） 18：30～19：20

【場 所】 オンライン開催

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

○ 地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。

- 1 令和6年度地域医療構想調整会議の進め方について
- 2 令和5年度病床機能報告結果について
- 3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、今年度の地域医療構想調整会議の進め方や令和5年度病床機能報告結果について説明を行った。

また、地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。

（主な意見・質問等）

○ 地域包括ケア病棟の診療報酬の要件を満たすことが難しい。必要病床数に近づくように回復期病床を増やす必要があるというのであれば、こうした現場の状況を理解して、回復期病棟が使いやすくなるように考えてほしい。

⇒ 県として対応が困難なこともあるが、現場の状況把握には努めていきたい。

○ 人口が減少しているため、二次医療圏の編成を見直した方が良い。長門市だけで議論してもあまり意味がなく、より広域的な見地に立った議論が必要ではないか。

⇒ 医療圏の境が何かの障害になっていることはなく、必要に応じて圏域を越えた連携が行われている。二次医療圏は、県が一方的に設定するものではなく、実際の医療提供体制に合わせて、地域の関係者の共通認識として設定される単位である。